

内部被ばく検査、除染進捗状況は

町 隔年実施、41.3%が終了

問 町内の小中学生を対象に簡易型ホールボディカウンタによる内部被ばく検査が2年ぶりに再会されたが、子供たちの安全安心を考えれば毎年検査すべきと思うが、町の考えは。

保健福祉課長 内部被ばく検査は、平成24・26年度に実施している。他に甲状

腺エコー検査・尿・母乳検査も実施し、子供たちの健康を見守っているが、現在、特に問題はない。

問 11月末現在の戸建て住宅等除染の進捗状況は。

環境課長 優先地区の夕

狩・成沢・荻野・伊王野地区及び第2期地区の逃室・黒田原・大島地区等の除染作業は終了し、町全体では、調査対象戸数8676戸の内、4751戸の除染同意があり、その内1960戸、41.3%が除染作業を終了している。

災害時の緊急告知ラジオ導入は

町 導入費用や効果等他のシステムと比較検討

問 災害時に自治体が住民にどのような情報を伝えるか、大きな課題である。緊急告知ラジオは、有力な

伝達手段と考えるが町の考えは。

総務課長 高齢者等には、有効な手段の一つとして認識している。導入費用やその効果等について、他のシステムと比較検討し、本当に有効であると判断した場合には導入を検討していきたい。

規模な防災訓練は実施していない。災害に強いまちづくりに向け、町全体で訓練を行う考えは。

町長 定期的に防災訓練を行っているが、全町的には浸透していない。緊急時には、どのような訓練が有効なのか、今後検討していきたい。



平山 忠



平成26年4月改訂版
「那須岳火山防災ハンドブック」



簡易型ホールボディカウンタによる検査